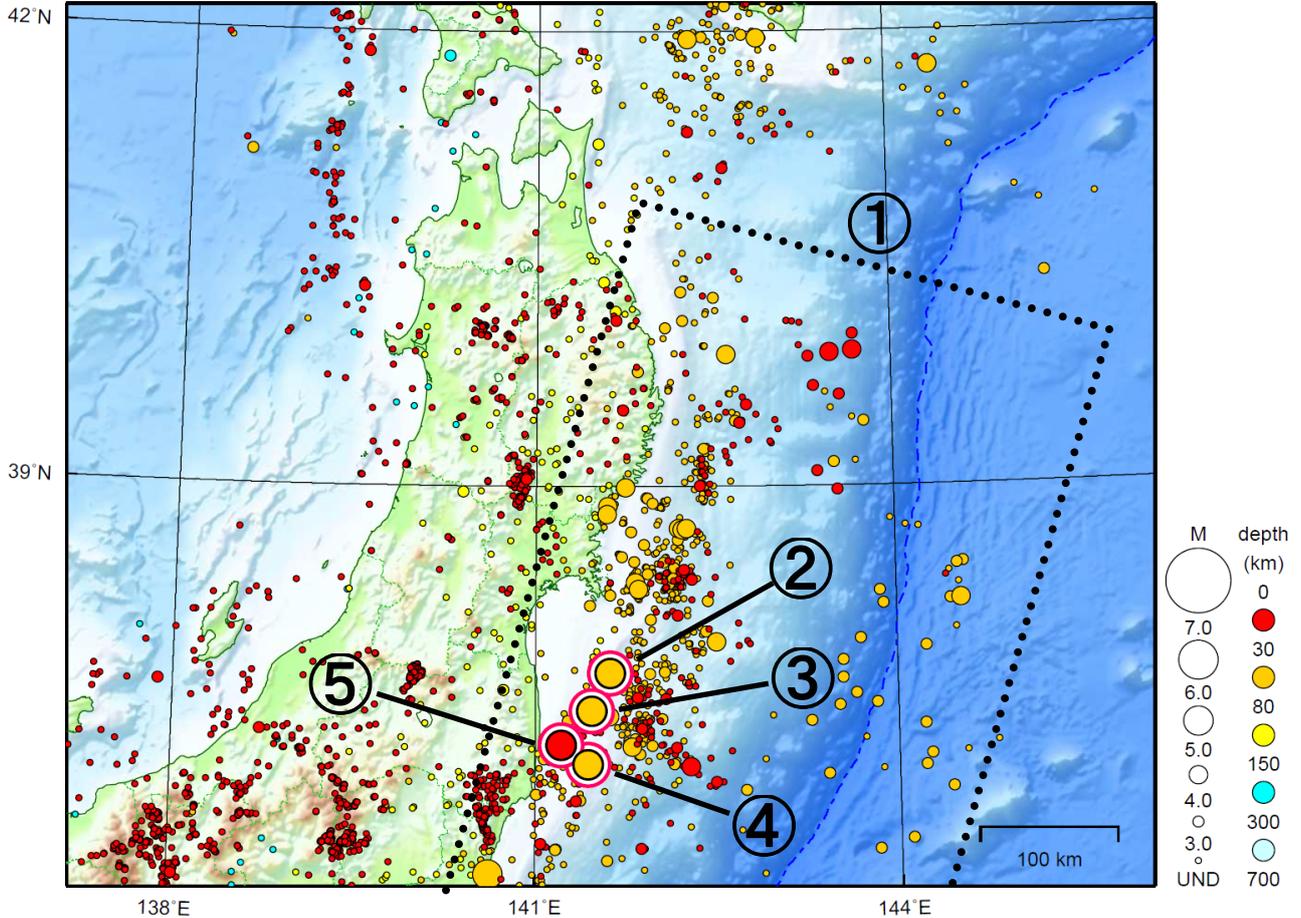


東北地方

2015/08/01 00:00 ~ 2015/08/31 24:00

N=2834



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 8 月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 5 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震が 2 回発生した。

以下の②～⑤の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。

- ② 8 月 3 日に福島県沖で M5.1 の地震（最大震度 3）が発生した。
- ③ 8 月 5 日に福島県沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。
- ④ 8 月 14 日に福島県沖で M5.1 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ⑤ 8 月 24 日に福島県沖で M5.1 の地震（最大震度 3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 8 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 5 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 2 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第になくなってきているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2015 年 8 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

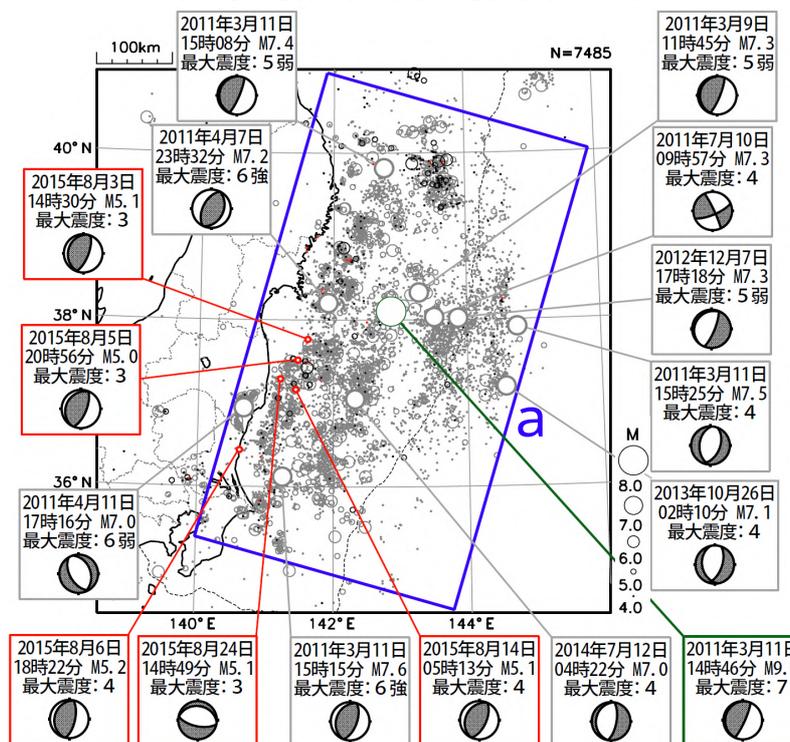
2015 年 8 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
08月03日 14時30分	福島県沖	5.1	5.0	3	西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
08月05日 20時56分	福島県沖	5.0	5.0	3	西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
08月06日 18時22分	茨城県沖	5.2	5.1	4	西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
08月14日 05時13分	福島県沖	5.1	5.1	4	西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
08月24日 14時49分	福島県沖	5.1	4.7	3	南北方向に張力軸を持つ正断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 8 月 31 日、深さすべて、M 4.0）

2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 8 月から 2015 年 7 月の地震を濃く、2015 年 8 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



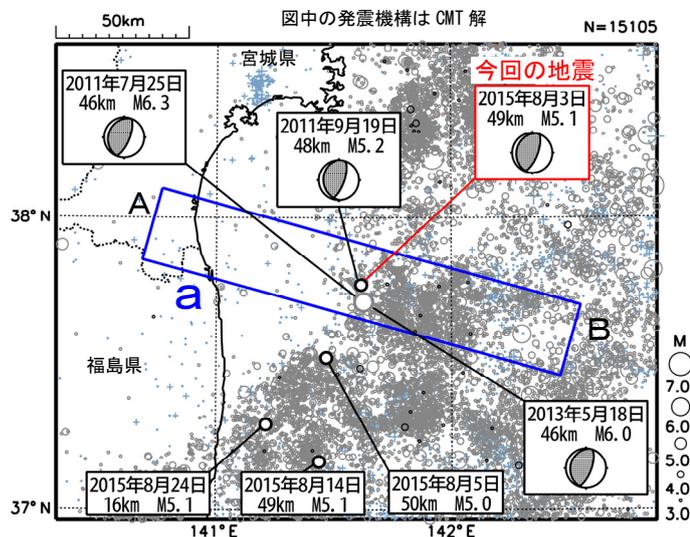
領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2015 年 8 月に発生した M5.0 以上の地震に吹き出しをつけた。



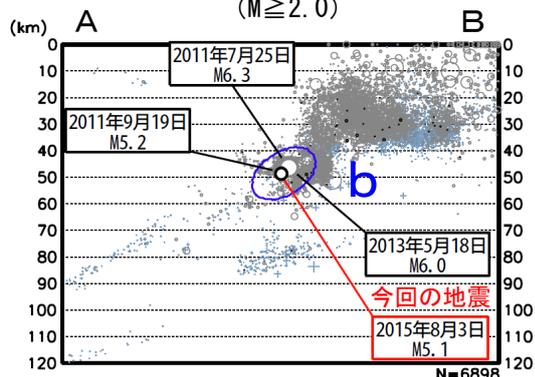
8月3日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2015年8月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解

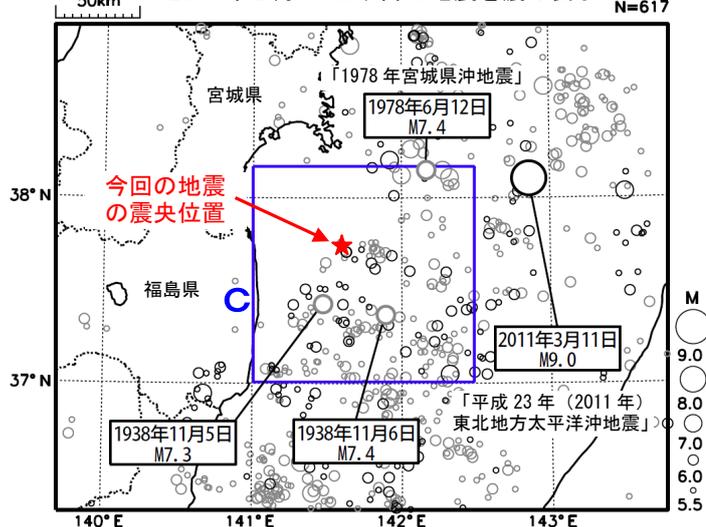


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)
($M \geq 2.0$)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.5$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

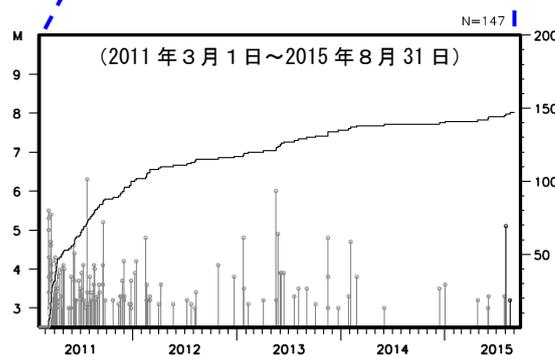
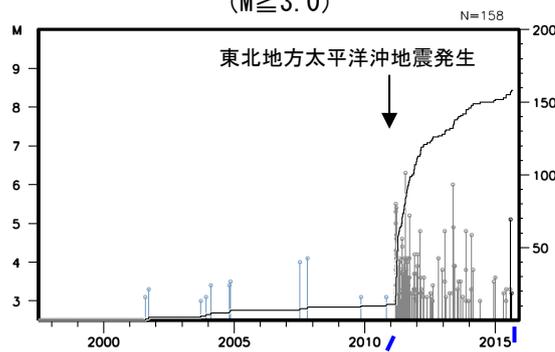


2015年8月3日14時30分に福島県沖の深さ49kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

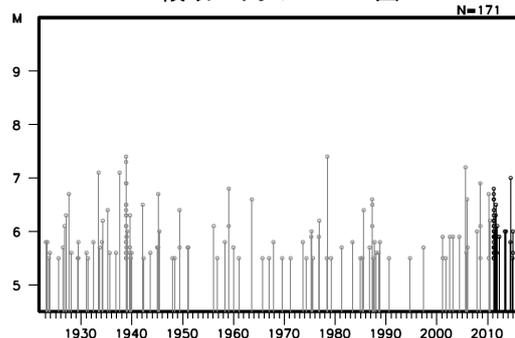
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以前にはM4.0以上の地震は2回しか発生していなかった。東北地方太平洋沖地震の発生以降は、2011年7月25日にM6.3の地震(最大震度5弱)が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域 b 内のM-T図及び回数積算図
($M \geq 3.0$)



領域 c 内のM-T図



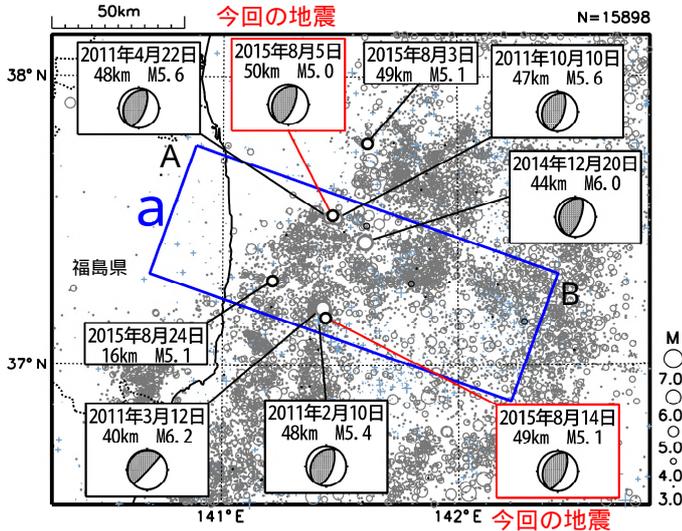
8月5日、14日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、M 3.0)

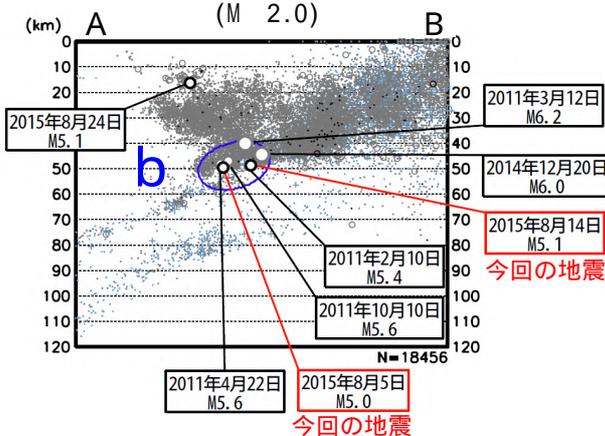
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い

2015年8月の地震を濃い で表示

図中の発震機構はCMT解

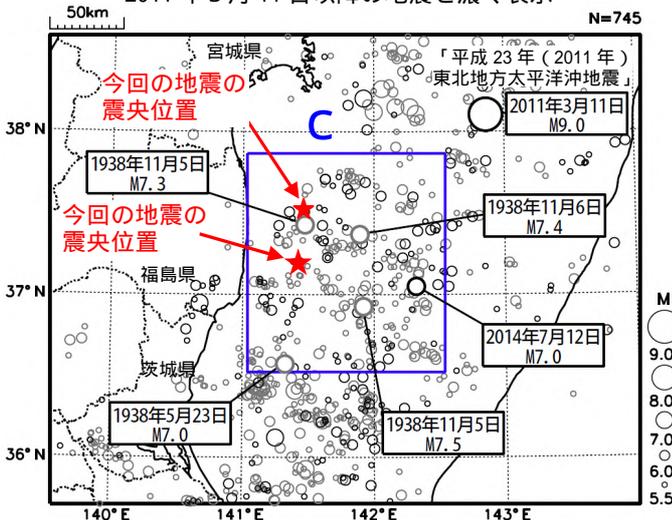


領域a内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、M 5.5)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

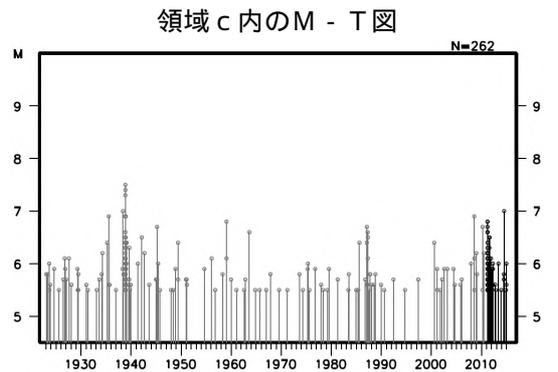
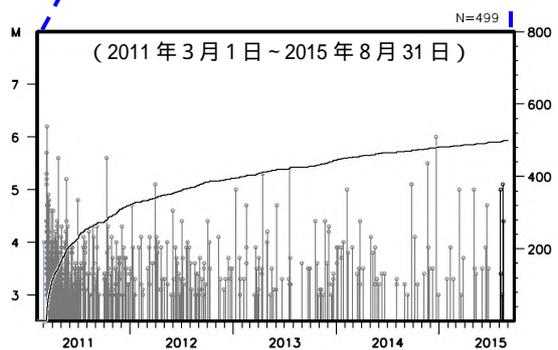
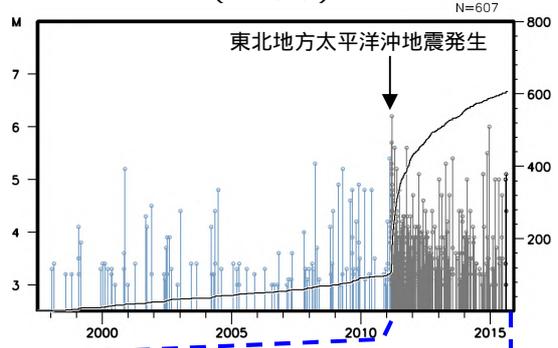


2015年8月5日20時56分に福島県沖の深さ50kmでM5.0の地震(最大震度3、)が発生した。また、2015年8月14日05時13分に福島県沖の深さ49kmでM5.1の地震(最大震度4、)が発生した。これらの地震は発震機構(CMT解)が、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化しており、M5.0以上の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で113cm(全振幅)などの津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。

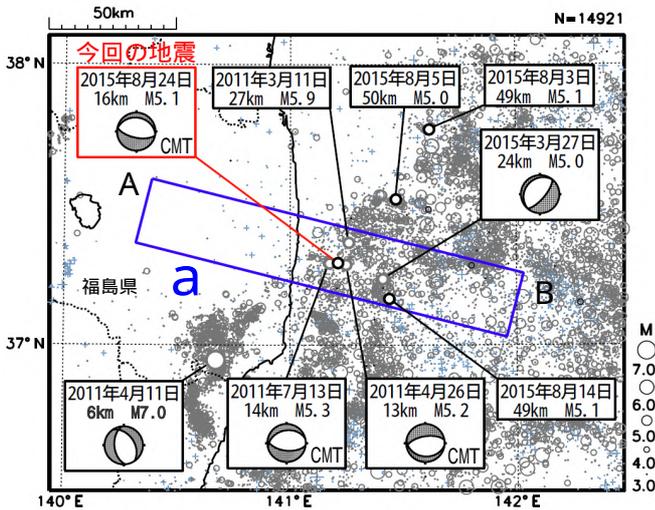
領域b内のM - T図及び回数積算図
(M 3.0)



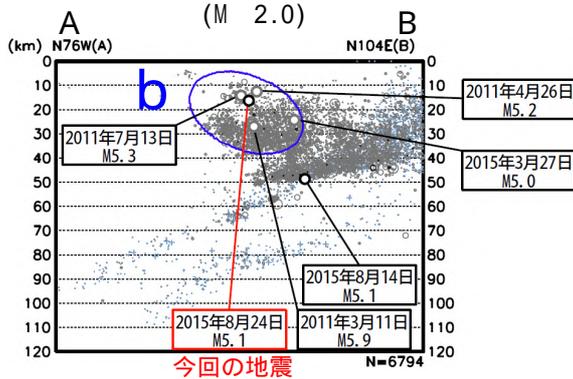
8月24日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、M 3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い
2015年8月の地震を濃い で表示

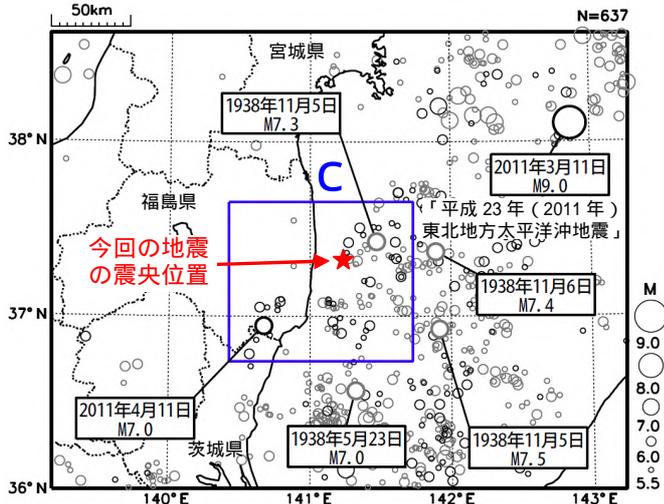


領域a内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、M 5.5)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

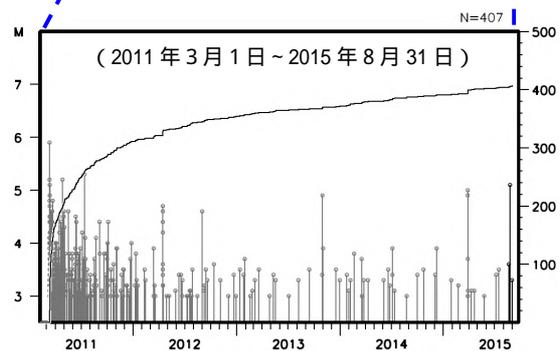
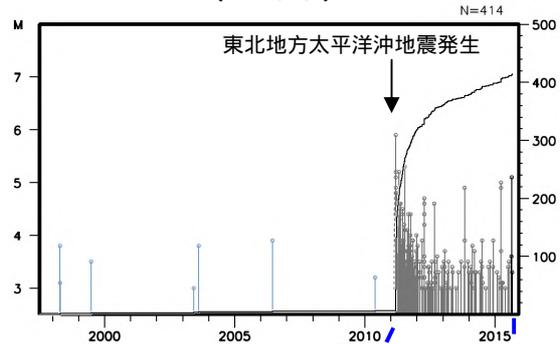


2015年8月24日14時49分に福島県沖の深さ16kmでM5.1の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が南北方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震は発生していなかったが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、M5クラスの地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0を超える地震が時々発生している。また、震央付近 (領域c) では、2011年4月11日にM7.0の地震 (最大震度6弱) が発生し、死者3人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

領域b内のM - T図及び回数積算図
(M 3.0)



領域c内のM - T図

